

早稲田大学 商学部  
2024年度 入試問題の訂正内容

<一般選抜>

【日本史】

●問題冊子3ページ：1 問H 選択肢6

選択肢6を削除

以上

1 古代の内乱（反乱）に関する次のⅠ～Ⅲの史料を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。なお、史料は一部、書き改めたところがある。

（史料Ⅰ）

◇継体天皇二十一年六月条

近江毛野臣、衆六万を率て、任那に往く。（中略）是に、筑紫国造磐井、陰に叛逆くことを謀る。（中略）新羅、是を知りて、密に貨賂を磐井が所に行りて、勸むらく、毛野臣の軍を防遏へよと。是に磐井、（中略）使修職らず。

◇継体天皇二十二年十一月条

大將軍物部 **ハ** 麩鹿火、親ら賊の帥磐井と、筑紫の御井郡に交戦う。（中略）遂に磐井を斬りて、果して疆場を定む。

◇継体天皇二十二年十二月条

筑紫君葛子、父のつみに坐りて誅せられんことを恐りて、糟屋 **ニ** を献りて、死罪贖わんことを求む。

（史料Ⅱ）

◇天武天皇元年六月条

村国連 男依・和珥部臣君手・身毛君広に詔して曰わく、「今聞く、近江朝廷の臣等、朕が為に害わんことを謀る。是を以て、汝等三人、急に美濃国に往りて、安八磨郡の湯沐令多臣品治に告げて、機要を宣べ示して、先ず当郡の兵を発せ。仍りて国司等に経れて、諸軍を差し発して、急に **ホ** 道を塞げ。朕、今発路たん」と。

◇天武天皇元年七月条

男依等瀬田に到る。時に **ヘ** 皇子及び群臣等、共に橋の西に営りて、大いに陣を成せり。（中略）衆<sup>※1</sup>、悉く乱れて散り走ぐ。（中略）是に **ヘ** 皇子、走げて入らん所無し。乃ち還りて山前に隠れて、自ら縊れぬ。時に左右大臣及び群臣、皆散り亡せぬ。

※1 衆…… **ヘ** 皇子の側の軍勢。

（史料Ⅲ）

◇天平宝字八年九月条

軍士石村村主石楯、押勝を斬りて、首を京師に伝う。押勝は近江朝の内大臣藤原朝臣 **チ** の曾孫、平城朝の贈太政大臣武智麻呂の第二子なり。（中略）天平六年、従五位下を授けられ、任を歴ること通頭なり。勝宝元年、正三位大納言兼紫微令中衛大将に至る。（中略）宝字元年、**リ** 等、謀りて之を除かんと欲す。事廢立に渉りて、反りて為に滅さる。其の年、紫微内相に任ぜらる。二年、大保を拝す。（中略）四年、太師に転ず。（中略）時に **又**、常に禁掖に侍して、甚だ寵愛せらる。押勝これを患えて、懐自ら安からず。（中略）遂に兵を起して反く。其の夜、党与を相招き、道きて宇治より近江に奔り抛る。山背守日下部子麻呂・衛門少尉佐伯伊多智ら、直に田原道を取り、先に近江に至りて勢多橋を焼く。押勝これを見て色を失う。（中略）伊多智ら馳せて越前国に到り、守辛加知<sup>※2</sup>を斬る。押勝知らずして、偽りて塩焼<sup>※3</sup>を立てて今帝とし、真先・朝獵<sup>※4</sup>らを皆三品とす。（中略）精兵数十を遣して **ル** 関に入らしめんとす。授刀物部広成ら拒ぎてこれを却く。押勝、進退抛を失う。

※2 辛加知……押勝の息子。

※3 塩焼……皇族出身の氷上塩焼。

※4 真先・朝獵……ともに押勝の息子。

問A 下線部イの人物の墳墓とされ、多数の石人・石馬が出土した古墳として、正しいものはどれか。

1. 龍角寺岩屋古墳
2. 岩戸山古墳
3. 竹原古墳
4. 箸墓古墳
5. 作山古墳

問B 下線部口に関する文として、正しいものはどれか。

1. 馬韓地域を統一して建国した。
2. 倭国に五経博士を送り、儒教を伝えた。
3. 隋と対立して征討を受けた。
4. 唐と結んで高句麗を滅ぼした。
5. 11世紀初頭に滅亡した。

問C 空欄ハに入る語として、正しいものはどれか。

1. 大臣
2. 大連
3. 朝臣
4. 忌寸
5. 直

問D 空欄ニに入る語として、正しいものはどれか。

1. 部曲
2. 田荘
3. 名代
4. 子代
5. 屯倉

問E 空欄ホ・ルに入る地名の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. ホ = 不破 ル = 鈴鹿
2. ホ = 逢坂 ル = 白河
3. ホ = 逢坂 ル = 愛発
4. ホ = 不破 ル = 愛発
5. ホ = 白河 ル = 鈴鹿

問F 空欄ヘ・チに入る人物名の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. ヘ = 草壁 チ = 鎌足
2. ヘ = 大友 チ = 鎌足
3. ヘ = 大友 チ = 宇合
4. ヘ = 大津 チ = 不比等
5. ヘ = 高市 チ = 不比等

問G 下線部トに関する文として、誤っているものはどれか。

1. 光明皇太后を後ろ盾とした。
2. 孝謙太上天皇と対立し、滅ぼされた。
3. 養老律令を施行した。
4. 墾田永年私財法の制定を主導した。
5. 唐式の官名を導入した。

問H 空欄リ・ヌに入る語の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. リ = 橘諸兄 ヌ = 齋然
2. リ = 橘奈良麻呂 ヌ = 道鏡
3. リ = 長屋王 ヌ = 玄昉
4. リ = 橘諸兄 ヌ = 玄昉
5. リ = 橘奈良麻呂 ヌ = 齋然
6. リ = 長屋王 ヌ = 道鏡

問I 史料Ⅰ～Ⅲは原漢文であるが、それぞれの史料の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. Ⅰ - 『元亨釈書』 Ⅱ - 『日本書紀』 Ⅲ - 『積日本紀』
2. Ⅰ - 『元亨釈書』 Ⅱ - 『日本書紀』 Ⅲ - 『日本後紀』
3. Ⅰ - 『日本書紀』 Ⅱ - 『日本書紀』 Ⅲ - 『日本書紀』
4. Ⅰ - 『日本書紀』 Ⅱ - 『日本書紀』 Ⅲ - 『続日本紀』
5. Ⅰ - 『日本書紀』 Ⅱ - 『続日本紀』 Ⅲ - 『日本後紀』
6. Ⅰ - 『続日本紀』 Ⅱ - 『日本後紀』 Ⅲ - 『積日本紀』

問J 史料Ⅰ～Ⅲに関する文として、正しいものはどれか。

1. 史料Ⅰの乱を契機として、ヤマト政権の外交は九州の豪族に委ねられるようになった。
2. 史料Ⅱの乱で「近江朝廷」に従った豪族が、後の天武天皇の政権を中心的に支えた。
3. 史料Ⅲの乱では、天皇が自ら反乱の鎮圧にあたった。
4. 史料Ⅰ・Ⅱの乱はどちらも、乱の後の王権の伸長につながった。
5. 史料Ⅱ・Ⅲの乱はどちらも、地方に逃れてその地域の勢力を兵士として徴発した側が勝利した。

2

次の史料Ⅰ～Ⅲと解説文を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

（史料Ⅰ）

一、悪党を籠め置き無沙汰の所々の事、

地頭・御家人等の領においては、子細を尋ね明らめ注申すべし、その左右に随い誠め沙汰あるべし、また 、  
件の輩を拘措するの地に至っては、早く注申せらるべし、

一、好みて悪党を召し仕うる輩の事、

狼藉の基たり、早く交名を注申すべし、ことにその沙汰あるべきなり、

（式目追加）

（史料Ⅱ）

古の興廢を改めて、今の例は昔の  なり、朕が  は未来の  たるべしとて新なる勅裁漸くきこえけり、……次に関東へは同年（元弘三年）の冬、成良親王征夷將軍として御下向也、下御所左馬頭殿供奉し奉られしかば、東八ヶ国の輩大略勵し奉りて下向す、……ここに京都の聖斷を聞き奉るに、記録所・決斷所を置かるといへども、近臣臨時に内奏を経て非儀を申し断る間、綸言朝に變じ暮に改まりしほどに、諸人の浮沈掌を返すがごとし、……また天下一統の掟をもって安堵の綸旨を下さるといへども、所帯を召さるる輩恨みを含む時分公家に口ずさみあり、尊氏なしという詞を好みつかいける、

（『梅松論』）

（史料Ⅲ）

観応二年十一月

五日、天晴る、……一昨日宰相中将・忠雲僧正、賀茂親承坊において対面す、随分の饗応あり、 方の綸旨二通、忠雲隨身して相公に与う、一通は勅免、一通は直義法師追討の事と云々、公家の事は一円  方御沙汰あるべし、武士の事は召し仕わるるの上は、管領すべき旨勅許と云々、……後日この和与世上に披露す、

（『園太暦』）

鎌倉幕府は、13世紀もなかばを過ぎて北条氏の得宗が権勢を強めると、それとは裏腹にさまざまな問題に悩まされることとなった。（史料Ⅰ）はそのありさまを示す一例で、反体制的活動を行い、勢力を拡大してきた悪党とよばれる人びとを、武士や荘園領主が抱え置いたり、召しつかったりしていることがみえる。つまり、反体制的な勢力に加担したり、取り込んだりする動きがうかがえるのである。

14世紀に入り、得宗の有力被官である内管領の専横が強まると、幕府に対する人びとの不満はいよいよ高まった。これを好機とみた後醍醐天皇は悪党を含む反幕勢力を糾合し、鎌倉幕府を滅亡させた。（史料Ⅱ）は、それに関わるありさまの一部を示したもので、後醍醐の自信が示されているところや、後醍醐の親王の1人が関東に派遣され、有力な武士の補佐を得て鎌倉將軍府が設置されるありさまなどが描かれているが、さまざまな矛盾が噴出していることも示され、結局後醍醐が展開した、いわゆる建武の新政はほどなく瓦解することとなった。

その後、南北朝内乱が60年近く続いていくが、この内乱を長引かせた一因が観応の擾乱である。（史料Ⅲ）はその一場面を示したもので、事態の複雑さを物語っている。なお、「宰相中将」「相公」とあるのは足利尊氏の子息義詮のこと、「忠雲僧正」は南朝の使者である。

問A 空欄イに入る語はどれか。

1. 院近臣 2. 守護 3. 受領 4. 本所 5. 政所

問B 空欄□・ハ・ニに入る語の組み合わせとして、正しいのはどれか。

1. □=先例 ハ=新儀 ニ=先例
2. □=新儀 ハ=先例 ニ=新儀
3. □=先例 ハ=先例 ニ=新儀
4. □=新儀 ハ=新儀 ニ=先例
5. □=先例 ハ=新儀 ニ=新儀

問C 下線部ホの人物はどれか。

1. 足利尊氏
2. 足利直義
3. 足利基氏
4. 楠木正成
5. 新田義貞

問D 空欄へに入る語はどれか。

1. 南
2. 北
3. 南北
4. 将軍
5. 幕府

問E 下線部トに関して述べた次の文X・Y・Zの正誤の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

X 東国で多く活動し、やがて畿内・西国でも見られるようになった。

Y 名主や商人なども含まれていた。

Z 集団行動が多かった。

1. X-正 Y-正 Z-誤
2. X-正 Y-誤 Z-正
3. X-正 Y-誤 Z-誤
4. X-誤 Y-誤 Z-正
5. X-誤 Y-正 Z-正

問F 下線部チについて、北条高時のもとでこの地位にあった人物はどれか。

1. 安達泰盛
2. 北条重時
3. 長崎高資
4. 金沢実時
5. 平頼綱

問G 下線部に関連して述べた文のうち正しいものはどれか。

1. 足利高氏は幕府により畿内に派遣されたが、六波羅探題を攻め落とした。
2. 伊勢で挙兵した楠木正成は、悪党の出自といわれる。
3. 後醍醐天皇の皇子懐良親王は、吉野で挙兵した。
4. 新田義貞は畿内から引き返し、鎌倉に攻め入った。
5. 鎌倉に攻め込まれ、追いつめられた北条高時・時行父子は自害した。

問H 下線部ヌに関連し、(史料Ⅱ)の内容として正しいものはどれか。

1. 記録所・決断所といった鎌倉時代からの役所は、そのまま存続していた。
2. 天皇の近臣は、つねに役所を通して天皇に進言した。
3. 天皇の意思は、近臣の進言によっても不変だった。
4. 所領を保証する綸旨が下される一方、所領・官職を取り上げられた人びとは不満を抱いた。
5. 貴族たちは、尊氏のような者は政権に不要だと天皇に進言した。

問I 下線部ルについて説明した次の文a～dのうち、正しいものが2つあるが、その組み合わせはどれか。

a 国々に国司のみを置いて守護を廃止した。

b 大内裏造営を計画した。

c 醍醐・宇多天皇の治世が理想とされた。

d 銅銭・紙幣を発行しようとした。

1. aとb
2. aとc
3. aとd
4. bとc
5. bとd

問J 下線部ヲに関連して述べた文のうち誤っているものはどれか。

1. 抗争の過程で足利尊氏は南朝に降伏した。
2. 抗争の過程で足利直義は南朝に降伏した。
3. 足利直義は、実力による所領拡大を図る勢力を支持した。
4. 足利尊氏の弟直義と尊氏の執事高師直との対立を契機として抗争が起きた。
5. 足利直義が死去しても抗争は尾を引いた。

3

次の文章とそれに関連する史料を読み、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

江戸時代は多くの文芸が生まれ、商業出版がさかんになった時代である。当初、書物を刊行する本屋は京都に限られていたが、17世紀中期以降、江戸・大坂でも本屋による出版がはじまり、18世紀末には三都以外の地方都市にも登場した。軍記物語をはじめ、古代・中世に生まれた文学作品も刊行され、書物は民衆にも広く読まれるようになった。多くの人に長く読み継がれる作品を古典とよぶとすれば、古典という認識が生まれたのは江戸時代であったといえる。

刊行された作品ばかりでなく、写本によって多くの人に読まれた作品も数多く存在する。写本で広がったジャンルの1つに百姓一揆物語がある。それぞれの地域で起こった百姓一揆を物語としてまとめた書物である。その内容には脚色されたところがあり、すべてを実際にあったとすることはできない。しかし、一揆物語の内容は、当時の人々の政治認識を探る上で格好の史料となる。その点で、まったく別地域の一揆を描いているにもかかわらず、百姓一揆物語には共通している点があることは注目される。たとえば、1739年に鳥取藩で起こった百姓一揆を描いた『ホ 民乱太平記』を例にしてみよう。下記の史料はその末尾の部分である。

この一揆物語によれば、凶作で領民が苦しんでいたところ、村役人が百姓救済の要望を藩にあげず、藩の農政担当者も厳しく年貢を取り立てたという。そこで、憤慨した百姓たちは村役人宅を打ちこわした上、農政担当の藩役人を糾弾しようとした。この騒動を通じて百姓の困窮を知った藩主（一揆直後に病死したので、裁断を下したのはその次の藩主）は、一揆の指導者とともに百姓たちを苦しめた藩役人を処罰した。その結果、太平の治世が回復した、というストーリーである。

こうした内容は多くの百姓一揆物語に共通している。百姓一揆物語は、領民をいたわって仁政を施す領主と、それに応えて年貢を納める領民とが信頼関係で結ばれているところに、その間にいる村役人や藩役人が領民を虐げたため一揆が起こった、と解釈しているのである。現実には、領主による仁政の実現は困難であったが、上記のような物語が受け入れられていたのは、この時代、仁政が実現可能であると人々に認識されていたからである。ところが、そうした認識は徐々に薄れ始め、とりわけ1830年代以降、人々の政治権力への信頼は崩れていく。19世紀における政権の交代や社会体制の変化は、こうした領主と領民の関係の変化を背景に起こったといえよう。

（史料）

民共が益なき事に騒動いたさば、先殿のいかりをやすめ奉らん為一々刑罪申し付くべし、又役人邪欲あるによっては訴えなば、役人を罪科におこなうべし、正罪正しき<sup>(注1)</sup>大君<sup>(注2)</sup>の勢い、家中上下押しなべて恐れ入てぞ敬いける、(中略)後民共これにて恨みあるべからず、しかしながら民も又願いの筋を申し上げる願方もあるべきに、國中騒動いたし、先殿の御心を痛ましむる事、科少なからず、これによって徒党の張本ことごとく刑罰せしめ、獄門の木にかけさらし申すべしとて、正罪正しきは、名におう<sup>(注3)</sup>チの智信勇を備え給うと、御家中在町残らず敬い奉る、それより國中ゆたかにて、武士は弓馬の道を学び、民は耕作に心を寄せ、工は長田大明神<sup>(注3)</sup>に手際を顕し、商人は商売日々に栄え、

又 の心広くしてゆたかに保つ、春迄に太平国とぞ治りぬ

(注1) 正罪正しき：明らかな罪をただす。

(注2) 大君：ここでは藩主のこと。

(注3) 長田大明神：鳥取城下の神社。

問A 下線部イに関して、江戸時代に刊行された次の書物、X・Y・Zを刊行順に正しく配列したものはどれか。

X 浮世風呂 Y 世間胸算用 Z 仕懸文庫

1. X・Y・Z 2. X・Z・Y 3. Y・X・Z 4. Y・Z・X 5. Z・X・Y

問B 下線部ロのうち、幕府の遠国奉行が置かれなかったところはどれか。

1. 長崎 2. 山田 3. 日光 4. 新潟 5. 博多

問C 下線部ハの背景にある庶民教育機関の普及についての説明で、正しいものはどれか。

1. 寺子屋の師匠は、僧侶・神職・村役人のほか、浪人や女性の場合もあった。
2. 寺子屋では、往来物とよばれる幕府が定めた教科書が使用された。
3. 女性は庶民教育から排除された。
4. 藩が設置した学校に庶民が入学した例はない。
5. 庶民教育の内容は、読み書き・そろばんなどの日常生活に関すること以上には広がらなかった。

問D 下線部ニの事件が起こったときの将軍が行ったことでないのはどれか。

1. 足高の制
2. 上げ米
3. 服忌令発令
4. 株仲間公認
5. 公事方御定書編纂

問E 空欄ホには、2つの旧国名を示す語が入る。その国名の組み合わせで正しいものはどれか。

1. 長門・周防
2. 因幡・伯耆
3. 丹波・丹後
4. 播磨・美作
5. 若狭・越前

問F 下線部ヘの理由の一つは、大名が幕府に務める軍役の負担が領民に転嫁されていたことである。軍役やそれに関連する説明で、誤っているものはどれか。

1. 大名は兵馬を常備し、常に臨戦態勢をととのえていることが義務づけられていた。
2. 大名が常備しておく兵馬の数についての基準はなく、それぞれの大名家が財政状況によって決めた。
3. 軍事動員のほか、幕府から大名に課される、江戸城などの修築や河川の工事などの負担も軍役の一環であった。
4. 1年交代で国元と江戸を往復する参勤交代とそれにとまなう江戸藩邸の生活は、大名家の財政を圧迫した。
5. 参勤交代の際の大名行列は、街道や宿場の整備につながった。

問G 下線部トを示す出来事の説明として、該当しないものはどれか。

1. 既存の神仏信仰では満足できない人々が、新しい神格のもとに救いを求めた。
2. 高利貸しなどへ激しい打ちこわしを展開する世直し一揆が起こった。
3. 伊勢神宮の御札が降下したという風説により、民衆が乱舞する現象が起こった。
4. 幕府と長州藩が対立しているさなか、大坂や江戸で打ちこわしが起こった。
5. 人々の不満を代表して村役人が将軍に直訴した。

問H 史料の書名から判断すると、この物語の作者は執筆の際に中世の軍記物語を念頭に置いていたと想定される。空欄チには、その軍記物語のなかで活躍する武将の名前が入る。該当する人物はどれか。

1. 源義経
2. 北条泰時
3. 竹崎季長
4. 楠木正成
5. 織田信長

問I 下線部リを参考に、空欄ヌに該当する語を選びなさい。

1. 将軍様
2. 若殿様
3. 御役人
4. 民百姓
5. 四民

問J 史料に記されていないことはどれか。

1. 領民に邪心があれば、役人はそれを詳しく調べてたどすべきである。
2. 領民は、訴えたいことがあればその方法もあるはずであるのに、騒動を引き起こして前の藩主の心を痛めた。
3. 明らかな罪をただす藩主の姿勢に、家臣一同は感服した。
4. 藩主には智信勇が備わっていると、家臣や村・町の領民は残らず藩主を敬っている。
5. 藩主が一揆の指導者を処罰し、その首を獄門にさらしたのは正しい判断である。

4 次の史料を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。史料は政治家3人による鼎談であり、空欄イ・空欄ホ・空欄トにはそれぞれ発言した政治家の氏名が入る。なお、史料はわかりやすくするために省略や変更を加えた部分がある。

（史料）

イ：「熟々内外の形勢を觀るに、實に今日は国家に取りて重大なる時機といふべし。即ち内にしては經濟社会の状況、政府財政の困難、条約改正に伴ふ實際的關係、外にしては東洋の形勢漸く迫まり、一たび此時機に処するの道を過まるときは、實に国家将来の進運を危殆ならしむるの恐あり。〔中略〕幸なるかな、両伯は積年の關係を捨てて、此に兩者の会同を執行せられ、優に多数を議會に制せらるべきは、殆ど疑を容れざる所、〔中略〕今後の事、挙げて両伯に一任するに於て議會なる関門を通過するを得るべきこと亦深く顧慮するを要せざるべし。両伯幸に一諾せば、将来国政を挙ぐる、豈難事とせんや。」

ホ：「貴意領せり。岩倉、木戸、大久保の諸先輩を助けて日本開国の種子を播布したるは實に **イ** 侯なり。而して其結果は異常の進歩發達を致し、就中帝国憲法の如き、侯の手に成りたるの偉功は、世人の識認する所、〔中略〕然るに侯が今忽然辞表を捧呈せられたるの事實は、余の殊に喫驚する所たり。」

ト：「侯の辞表は實に意外なり。民間党は既に合同したりと云ふも、余は **ホ** 伯と宴席に唯々一回の面晤を得たるのみ。余は **ホ** 伯が果して引受けらるるならば **チ** を挙げて伯の手に委ね、老生は安んじて隠居たらんことが本来の願なり。」

ホ：「余は去る二十一年入閣したるときも、偏に其調和を希へり。〔中略〕世人動もすれば薩長の專横を罵るも、国家に於ける薩長の功績は實は非常なりとす。〔中略〕凡そ国として何れにか實力の埋伏する所なかるべからず。但だ時勢の推移甚しければ、余が入閣したればとて、前日の如き威信を繋ぐを得べきや否。」

ト：「余が内務大臣たりし日と雖も、万事を慮勝ちにて意に任せざるもの少からざりし。薩長の勢力は政党の勢力に下らず、故に之を揺撼する所容易ならざるべきを悟りき。」

イ：「薩長の党派は、最早実利なし。今日議會に於て立法上の目的を達せんとする党派とは、固より同日を語るべきにあらず。」

ホ：「然り。事已に此に至りたる以上は、**ト** 伯とも熟議の上、何とか善後の計を講ぜざるべからず。其上聖天子の思食をも伺ひ、若し陛下の御信任を辱くするに於ては、相当の手段を取らざるを得ず。」

問A 空欄イに当てはまる人物について述べた文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 初代内閣総理大臣である。
2. 帝国議會開会時の内閣総理大臣である。
3. 日清戦争開戦時の内閣総理大臣である。
4. 日露戦争開戦時の内閣総理大臣である。
5. 長州藩出身である。

問B 下線部ロに関連して述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 初期議會において民党は積極財政による支出拡大を要求していた。
2. 日清戦争の戦費調達のために発行された外債の利子が政府財政悪化の原因であった。
3. 毎年の予算案は衆議院が作成し、貴族院の承認を経て執行された。
4. 日清戦争の賠償金の六割以上は軍備拡張に使われた。
5. 米価の上下に応じて地租による税収は増減した。

問C 下線部ハに関して述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 大隈重信外相は、条約改正に反対する官吏に爆弾を投げつけられた。
2. 岩倉使節団の派遣は近代化のための視察が目的であり、条約改正交渉を行う予定はなかった。
3. 青木周蔵外相による交渉では、イギリスが改正に同意したが、外国人判事の任用問題で挫折した。
4. 陸奥宗光外相による改正交渉は自由党によって支持され、領事裁判権撤廃に成功した。
5. 小村寿太郎外相は、関税率の一部引き上げと、日英通商航海条約の調印に成功した。



問D 下線部二に関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 日清戦争後、ドイツは山東半島の威海衛を租借した。
2. 日清戦争後、イギリスは新界（九竜半島と附属島嶼）を租借した。
3. 日清戦争後、ロシアは旅順・大連を租借した。
4. 日清戦争後、フランスは広州湾を租借した。
5. 日清戦争後、アメリカはハワイを併合した。

問E 空欄ホに当てはまる人物に関する文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 進歩党を与党として松方内閣に入閣した。
2. 土佐藩出身である。
3. 長州藩出身である。
4. 佐賀藩出身である。
5. 自由党を与党として伊藤内閣に入閣した。

問F 下線部へに当てはまる人物に関する文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 摂関家に次ぐ家柄の出身である。
2. 若くしてフランスに留学した。
3. 八月十八日の政変で京都を追放された。
4. 王政復古の大号令の発布に深く関与した。
5. 倒幕の密勅に基づき将軍に対して大政奉還を促した。

問G 空欄トに当てはまる人物と同じ藩出身の人物は誰か。正しいものを1つマークせよ。

1. 江藤新平    2. 西郷隆盛    3. 桂太郎    4. 岩崎弥太郎    5. 徳富蘇峰

問H 空欄チに当てはまる語句はなにか。正しいものを1つマークせよ。

1. 大成会    2. 憲政本党    3. 進歩党    4. 国民協会    5. 自由党

問I 下線部にに関連して述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 鉄道の敷設や管理を担当した。
2. その権限を利用して選挙干渉を主導することがあった。
3. 全国各地の教育制度や学校の管理を担当した。
4. 帷幄上奏の権限を有していた。
5. 宮中に関する事務をつかさどった。

問J 当時の下線部ヌに関して述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 天皇は首相をその独断によって決定した。
2. 天皇の輔弼者である元老は、憲法上にその存在根拠となる規定を持たなかった。
3. 天皇は憲法の制定者であり元首である以上、憲法の条規に従う必要はなかった。
4. 天皇は、憲法上国権の最高機関と規定されていたが、のちにこの規定は批判された。
5. 帝国議会は天皇の協賛をもって立法権を行使すると憲法に定められた。

5 次の文章 I, II を読んで、下記の設問 (A ~ J) に答えよ。

I

産業革命に伴う日本経済の成長は日清戦争で頓挫し、日露戦後にかけて停滞期を迎えた。しかし、第一次世界大戦の勃発はアジア市場の経済状況を一変させ、日本は大戦景気を謳歌することとなった。大戦は産業の成長を通じて労働運動の発展を、ロシア革命や米騒動を通じて社会運動の高揚を促す契機ともなった。もともと、大戦景気の底は浅く、日本は戦後におけるヨーロッパ諸国の市場復帰に対抗できる競争力を構築することはできなかった。

従って、大戦が終結してヨーロッパが本格的に市場に復帰し始めると、日本経済は再び苦境に追い込まれることになった。関東大震災の発生は苦しい状態に追い打ちをかけた。政府は銀行が持つ震災手形に日本銀行から特別融資させることで経済破綻を防いだが、不況が長期化する中で「財界の癌」といわれた震災手形の処理に手間取る結果となった。

金融恐慌を経て震災手形問題が一段落すると、日本の金本位制復帰がいよいよ現実の課題となった。この課題は浜口内閣によって達成されたが、吹き荒れる世界大恐慌の嵐に日本経済を深く巻き込むことになった。

このように低迷を続けた経済状況の下ではあったが、1920年代には工業化と都市化の進展を背景として社会生活と文化の大衆化・自由化が進み、大正デモクラシーと呼ばれる新たな時代が訪れた。

問A 下線部イに関連して、日露戦後の経済・社会について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 重工業資材などの輸入が増大したが、貿易収支は黒字を維持していた。
2. 戊申詔書を発布し、勤儉と節約による国力の強化を訴えた。
3. 軍拡政策と満鉄設立など海外権益の確立により、日露戦後経営を進めた。
4. 外債発行による資本収支の受け取り超過によって、正貨危機が緩和されていた。
5. 地租や間接税の負担が増大し、農村の疲弊が社会問題となった。

問B 下線部ロに関連して、大戦景気下の日本経済について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. イギリスにかわって日本の綿製品が、アジア市場に進出した。
2. ヨーロッパ輸出で好況に沸くアメリカに向けて、製糸業は輸出を伸ばした。
3. 実質賃金が上昇し続け、第1次産業から第2・第3次産業へと就業人口が移動した。
4. ドイツからの輸入途絶をうけて、染料・肥料など化学工業が発展した。
5. 大型水力発電と長距離送電の発達により、工場動力の電化が進んだ。

問C 下線部ハに関連して、大正期の社会運動・労働運動について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 北一輝らにより猶存社が設立され、国家改造運動へと進んでいった。
2. 小作争議が増加し、全国組織として日本農民組合が結成された。
3. 吉野作造は黎明会を組織して民本主義を軸とし、知識人に啓蒙活動を行った。
4. 友愛会は後に日本労働総同盟と改称し、労資協調から階級闘争を目指すようになった。
5. 無産政党的国家社会主義への転向が進み、日本国家社会党が結成された。

問D 下線部ニに関連して、1920年代の日本経済について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 国際競争力の不足と割高な物価のために、貿易収支は入超が続いた。
2. 浜口内閣は金解禁準備のため金融を緩和し、物価上昇をはかった。
3. 不況の中で電気機械、電気化学など電力関連の重化学工業は成長を遂げていた。
4. 金融恐慌で五大銀行への預金集中が進み、財閥は金融面から産業支配を強めた。
5. 日銀による再三の救済融資は、不良企業の整理を遅らせる面ももっていた。

問E 下線部ホに関連して、1920年代の社会・文化について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 新聞や雑誌の発行部数が大幅に増加し、発行部数100万部を超える新聞も出現した。
2. 都市部を中心に、トンカツなど食生活の洋風化が進んだ。
3. タイピスト、電話交換手など、女性の職場進出が進んだ。
4. 都市部とは異なり、農村の一般家庭には電灯が普及していなかった。
5. 1925年に東京、名古屋、大阪でラジオ放送が始まった。

## II

明治期の芸術は、西洋からの新しい潮流と伝統的な流れが対立と融合を繰り返しながら進んでいった。

演劇では **ヘ** が民衆の人気を得ていたが、西洋演劇の影響の下に新史劇が創作されるなど革新がはかられた。日露戦後になると、小山内薫が **ヘ** 俳優とともに **ト** 劇場を組織し、翻訳された西洋近代劇の上演も行うようになった。

音楽では1887年設立の東京音楽学校で専門的な音楽教育が始まり、ここで西洋音楽を学んだ **チ** は『荒城の月』などを作曲した。

美術では外国人教師を招いて西洋画も教えていた **リ** 美術学校が閉鎖され、1887年には西洋美術を排した東京美術学校が設立された。政府は伝統美術を保護する姿勢をとったのである。しかし、西洋画の人気は高く、1896年には東京美術学校に洋画科が新設されることとなった。こうした中で官庁側も次第に伝統美術と西洋美術との共存共栄をはかる方針に改め、1907年、共通の発表の場として **又** が開催された。

問F 空欄へにあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字3字で記せ。

問G 空欄トにあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

問H 空欄チにあてはまる人名を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問I 空欄リにあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

問J 空欄又にあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

**6** 次の文章を読んで、下記の設問（A～I）に答えよ。

高度成長期（1955～1973年頃）には、「節約」にかわって「消費」が美徳と考えられるようになり、消費が急速に拡大した。江戸時代の文化爛熟期であった元禄時代にぞらえ、「昭和元禄」ともよばれた。1960年度の『経済白書』は、**イ**（ ）や（ ）とむすびついた近代化投資が経済を発展させ、産業構造の高度化、生産の増大、国民生活の向上などが実現されたと述べている。

高度成長の前半期には、電気洗濯機、白黒テレビ、電気冷蔵庫が普及し、皇位継承の象徴とされる宝物にちなんで「**a**」とよばれた。1958年12月にはテレビ時代を象徴する **b** が完成し、1959年4月に行われた皇太子と皇太子妃の結婚パレードの中継を見ようと、人々が競うようにテレビを購入したため、受信契約数が大幅に増加した。

消費ブームは、1966年からの **c** 景気のなかでさらに活発となった。消費の中心は、自家用自動車、カラーテレビ、ルームクーラーなどの高価格の耐久消費財で、「新 **a**」または「3C」とよばれた。1964年の東京オリンピックを契機にカラーテレビが普及し、1975年には普及率が90%を超えた。乗用車の保有台数は、1966年には約230万台であったが、1974年には約1,460万台となり、自動車**が交通手段**の主力となっていった。

肉類や乳製品の消費が増大し、食の洋風化が進み、日本人の食生活も豊かになった。インスタント食品や冷凍食品を生産する食品工業の発達、d 外食産業の成長も見られた。その一方で、米の供給過剰と食糧管理特別会計の赤字が問題となり、1970年から d が始まった。

人びとの生活にゆとりが出ると、レジャー産業やマスメディアが発達した。新聞、雑誌、テレビなどは大衆文化の主な担い手になるとともに、大量の広告を制作して人びとの購買意欲をあおった。

国民所得の増加にともなって「教育熱」が高まり、高校・大学への進学率が高まった。1970年には、高校進学率は80%を超え、大学・短期大学進学率は24%に達した。高等教育の普及、マスメディアによる情報伝達、所得・消費水準の向上などが、ホ その後も長らく続く多くの日本人の考えに影響した。

問A 空欄 a に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に 5 字で記せ。

問B 空欄 b に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に 5 字で記せ。

問C 空欄 c に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に 4 字で記せ。

問D 空欄 d に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に 4 字で記せ。

問E 下線部イに関連する記述として、高度成長期の事柄ではないものをすべてマークせよ。

1. ドッジ・ライン
2. 国民所得倍増計画
3. 日本の経済協力開発機構加盟
4. 日本の国際連合加盟
5. 日本の国際通貨基金加盟

問F 下線部ロについて、2つの ( ) にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを1つマークせよ。

1. 技術革新 産業革命
2. 技術革新 流通革命
3. 流通革命 消費革命
4. 技術革新 消費革命
5. 流通革命 産業革命

問G 下線部ハに関して、高度成長期の交通手段に関する記述として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 最初に全線開通した自動車専用高速道路は、東名高速道路である。
2. 羽田空港発着の旅客輸送用のモノレールが開業した。
3. 東海道新幹線は、東京オリンピック開催の年に開業した。
4. 自動車交通手段の主力になることを、「モータリゼーション」という。
5. 1960年のジェット機導入によって航空輸送が拡大した。

問H 下線部ニに関連して、作家と作品の組合せとして、不適切なものを1つマークせよ。

1. 司馬遼太郎－『竜馬がゆく』
2. 三島由紀夫－『金閣寺』
3. 松本清張－『点と線』
4. 大江健三郎－『仮面の告白』
5. 高橋和巳－『悲の器』

問1 下線部ホに関して、この考えを適切に表現する漢字4字のキーワードを含めて、その状況を30字以内の文章で説明し、記述解答用紙の解答欄に記せ。なお、句読点も1字として数えよ。

〔以 下 余 白〕